

第74期 報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

日本ピグメント株式会社

株主の皆様のお声を聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4119

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、excite等のサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

Pigment

日本ピグメント株式会社

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。使用されている用紙は、適切に管理された森林からの生産物です。適切に管理された森林とは、FSC(森林管理協会)の規定に従い、独立した機関により認定された森林を指します。

株主の皆様へ	>>>	02
事業紹介	>>>	03
製品紹介	>>>	04
部門別営業の概況(連結)	>>>	05
連結財務諸表	>>>	06
株式・会社の概要	>>>	08
国内拠点	>>>	11
海外拠点	>>>	12
株主メモ	>>>	13

ゆとりは、色彩から—。

私たちのすむ日本には四季の色があり、
私たちはこの豊かな色彩に包まれて生活しています。
私ども日本ピグメントは、この豊かな色彩を再現し、
皆様に“夢と希望”を提供できるよう、
色彩について日々研究開発に努力しております。
日本ピグメントの製品は、日常生活のあらゆる場面で、
“豊かな色彩とゆとり”を皆様に提供しております。

株主の皆様へ



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、第74期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の営業の概況等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気後退に伴う低迷からの持ち直し局面にあり、民間需要の自立的回復力がなお弱いものの、輸出や生産が新興国の経済成長を背景に増加を続けております。このような状況下、企業収益が回復しつつあるほか、個人消費も厳しい雇用・所得環境が続いておりますが、各種経済対

策の効果などから耐久消費財を中心に回復しているなど、足元の景気は緩やかな持ち直しが続いております。

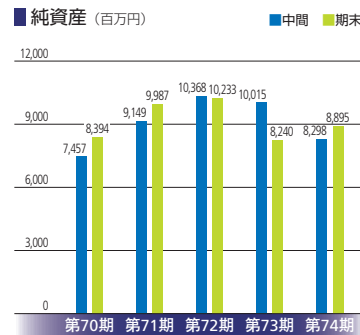
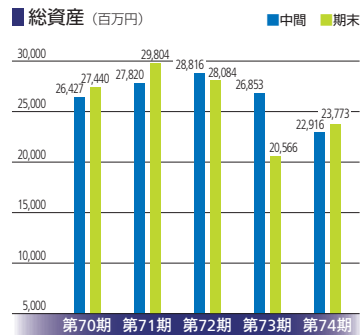
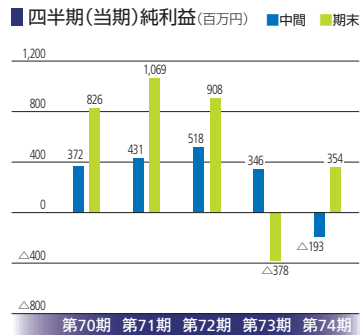
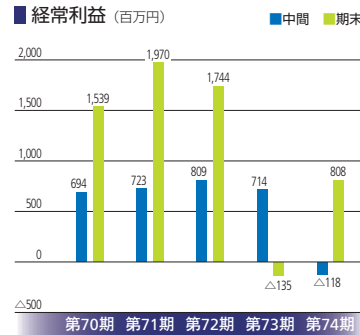
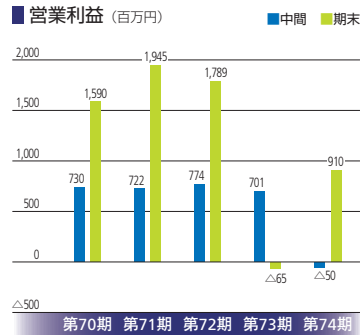
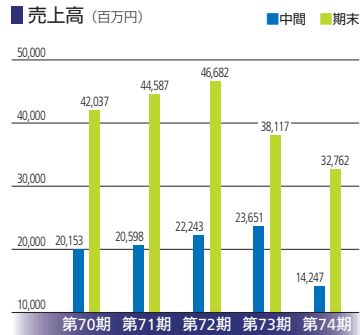
当業界におきましても、景気後退により急激に需要が減少しましたが、昨年夏以降は経済対策の効果やアジアを中心とした海外経済の回復を受けた在庫適正化の動きから、主要ユーザーである自動車・家電産業を中心に受注が回復しております。

このようななか当社グループは、前年度以降、需要減少に伴う生産体制の見直しや人件費圧縮を始めとする各種リストラ策に取り組んでまいりましたが、主要ユーザーの需要急回復を受けて、昨年夏以降、生産活動は高水準で推移しております。このような結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は32,762百万円（前期比14.0%減）、経常利益は808百万円（前期経常損失135百万円）、当期純利益は354百万円（前期当期純損失378百万円）となりました。

今後、企業を取り巻く環境が目まぐるしく変化していくなかで、企業成長へ向けた投資を行っていく一方、株主様への利益還元により企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 浅羽 幸夫

財務ハイライト（連結）



※第70～72期における中間の純利益は中間純利益です。

“豊かな色彩とゆとり”を、 日常生活のあらゆる場面に提供しています。

私ども日本ピグメントは、“色”の専門メーカーとして、創業以来、主にプラスチックの着色分野において、日常生活のあらゆる場面で“豊かな色彩とゆとり”を提供しております。私たちの身の回りには、自動車、家電、OA機器、日用品、化粧品など数え切れないほどのプラスチックを使った製品があります。

当社は主に、樹脂コンパウンドの分野でプラスチックの成形用材料や着色剤の提供を行っております。当社のカラー技術は、それらの製品にとって、機能・デザインともに重要な役割を担っております。

日本ピグメントの強み ～長年蓄積された高度な技術と、高品質へのこだわり～

当社は、お客様の色彩ニーズの満足度向上、品質の維持・向上への追求から自社、グループ内での製造にこだわってまいりました。

このこだわりによって蓄積した、当社独自の着色剤および添加剤の選定・配合技術、コアテクノロジーである高度な分散技術、お客様に満足を提供するための生産技術などのノウハウが、コア・コンピタンスの源

泉となっております。

特に分散技術に関しては、微細化が要求されるカラーフィルター用、インクジェット用などの液体分散体分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等、高度な技術を駆使し、カラーフィルター用、インクジェット用などの先端分野でさまざまな液体分散体を提供しております。

樹脂コンパウンド

樹脂コンパウンドとはプラスチックの成形用材料のことで、当社では、最終製品メーカーなどのお客様のご要望に合わせて、合成樹脂に当社独自の技術で着色・高機能化を図り、お客様に提供しております。

樹脂コンパウンドは、お客様のニーズに応じたプラスチックの色・機能に設計しているため、そのまま成形できるという利点があり、主に自動車、家電製品、家庭用品など様々な分野で使用されております。当社では、汎用的な製品から高機能製品まで提供しております。

樹脂用着色剤

樹脂用着色剤は、最終製品メーカーなどのお客様にて合成樹脂を着色するためのものであり、お客様のニーズに合わせて、主に加工顔料・マスターバッチを提供しております。

加工顔料は、顔料の分散性などの問題点を改良し、樹脂への着色のしやすさを配慮した顔料であり、マスターバッチは、プラスチックに高濃度の着色剤を練りこみ、プラスチックの成型時に規定の倍率で希釈する樹脂用着色剤です。当社では、自動車関連、家電、日用品、化粧品向けなどのあらゆる分野において、汎用的な製品から紫外線吸収・難燃性などの機能を併せ持った製品まで、お客様の様々なニーズに応じた製品を提供しております。

ピグメントカラー

プラスチック、インキ等に使用される着色剤には顔料や染料があり、お客様のニーズに応じた製品を提供しております。顔料は水や溶剤・油などに不溶で、プラスチックなどに微粒子で分散させることで着色します。一方、染料は水や溶剤・油などに可溶で、プラスチックなどに溶解することで着色し主に綿・毛・皮革・ナイロンなどの繊維の染色に使用されています。

インキ・塗料

壁紙、金属、紙関係など多様な用途に適したインキ・塗料を提供しております。なかでも、壁紙用インキでは、環境対策を施した製品設計となっております。

高分散型液体分散体

当社では、コア技術の高分散技術、多様な配合技術を連結させた研究開発に取り組んでおり、そのノウハウを活用することで、お客様のご要望に沿った高品質な高分散型液体分散体を提供しております。

主にカラーフィルター用、インクジェット用などの油性タイプの顔料分散体や、環境負荷の少ない水性インキおよびそのメジウム（希釈剤）などの水性タイプの顔料分散体も取扱っております。

特に微細化が要求される当分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等の当社の強みを駆使し、先端分野にも貢献しております。

※「分散」とは、樹脂中に顔料が溶けずに均等に散らばらせること等をいいます。



樹脂コンパウンド部門

当部門におきましては、経済対策の効果やアジア向けを中心とした海外需要の増加等から、主要ユーザーである自動車・家電産業を中心に受注は当初の予想を上回るペースで回復しております。しかしながら、景気回復のペースが緩やかななかで、顧客のコスト抑制姿勢の厳しさや、原材料価格の上昇懸念もあり、収益面では厳しい環境が続いております。

このような結果、当連結会計年度の売上高は25,184百万円と前期比17.5%の減少となりました。



樹脂用着色剤部門

当部門におきましても、住宅産業は引き続き低調も主に経済対策効果により主要ユーザーの自動車・家電産業で需要が回復しているほか食品・化粧品産業が堅調に推移し、売上高は当初予想を上回る状況となっております。このような結果、当連結会計年度の売上高は5,427百万円と前期比10.0%の増加となりました。



加工カラー部門

当部門におきましては、自動車産業の一部に回復の動きがみられたものの、住宅産業は低調が続くなど建材産業向けを中心に引き続き厳しい事業環境となっております。このような結果、当連結会計年度の売上高は2,053百万円と前期比18.6%の減少となりました。



連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	12,699,435	流動負債	10,403,388
現金及び預金	3,318,057	支払手形及び買掛金	5,364,736
受取手形及び売掛金	6,135,556	短期借入金	3,765,251
製品	1,694,655	1年内償還予定の社債	85,120
原材料及び貯蔵品	1,202,524	未払法人税等	227,971
繰延税金資産	169,776	賞与引当金	205,354
その他	184,239	その他	754,953
貸倒引当金	△5,374	固定負債	4,474,753
固定資産	11,074,067	社債	167,200
有形固定資産	8,287,801	長期借入金	3,593,344
建物及び構築物	3,444,848	長期繰延税金負債	513,006
機械装置及び運搬具	1,239,340	退職給付引当金	83,191
工具器具備品	108,686	役員退職慰労引当金	118,011
土地	3,494,925	負債合計	14,878,142
無形固定資産	55,102	(純資産の部)	
借地権	14,191	株主資本	9,057,629
その他	40,910	資本金	1,481,159
投資その他の資産	2,731,163	資本剰余金	1,047,700
投資有価証券	2,312,250	利益剰余金	6,541,993
長期貸付金	44,982	自己株式	△13,223
長期繰延税金資産	199,133	評価・換算差額等	△668,873
その他	243,176	その他有価証券評価差額金	335,204
貸倒引当金	△68,379	為替換算調整勘定	△1,004,077
資産合計	23,773,502	少数株主持分	506,604
		純資産合計	8,895,359
		負債及び純資産合計	23,773,502

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	32,762,760
売上原価	29,427,366
売上総利益	3,335,393
販売費及び一般管理費	2,424,535
営業利益	910,857
営業外収益	126,411
受取利息及び配当金	49,459
持分法投資利益	9,041
その他	67,910
営業外費用	228,487
支払利息	157,202
その他	71,284
経常利益	808,781
特別利益	6,391
貸倒引当金戻入額	6,391
特別損失	75,701
固定資産除売却損	6,795
関係会社株式売却損	0
減損損失	68,021
その他	885
税金等調整前当期純利益	739,471
法人税、住民税及び事業税	310,755
法人税等調整額	40,859
少数株主利益	33,531
当期純利益	354,324

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,475,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,326
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,174,497
現金及び現金同等物の期首残高	1,554,860
現金及び現金同等物の期末残高	2,729,357

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 15,758,994株
(うち自己株式41,485株)
- 株主数 1,826名

● 大株主の状況(上位10名)

大株主	持株数(千株)	持株比率(%)
日本ピグメント取引先持株株式会社みずほ銀行	1,047	6.66
株式会社十六銀行	780	4.97
株式会社みずほコーポレート銀行	698	4.44
日本化学株式会社	610	3.88
東京海上日動火災保険株式会社	519	3.31
株式会社資生堂	492	3.13
株式会社三菱東京UFJ銀行	491	3.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	468	2.98
三菱化学株式会社	419	2.67
	359	2.29

(注) 上記持株比率については、自己株式を控除した発行済株式の総数により算出しております。

● 概要

会社名 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)

本社所在地 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

代表者 取締役社長 浅羽 幸夫

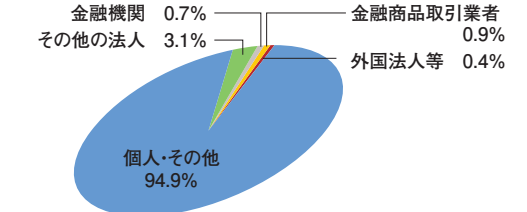
創業 1925年(大正14年)

事業内容 樹脂コンパウンド…プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤…プラスチック着色剤
加工カラー…塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー…塗料用、印刷インキ用等

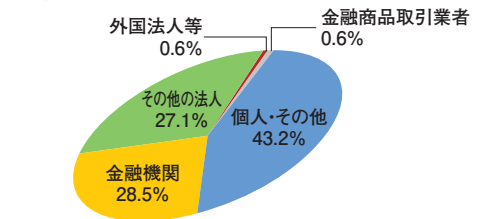
資本金 14億8,115万円

株式 東京証券取引所市場第二部上場

● 所有者別株主比率



● 所有者別株式比率



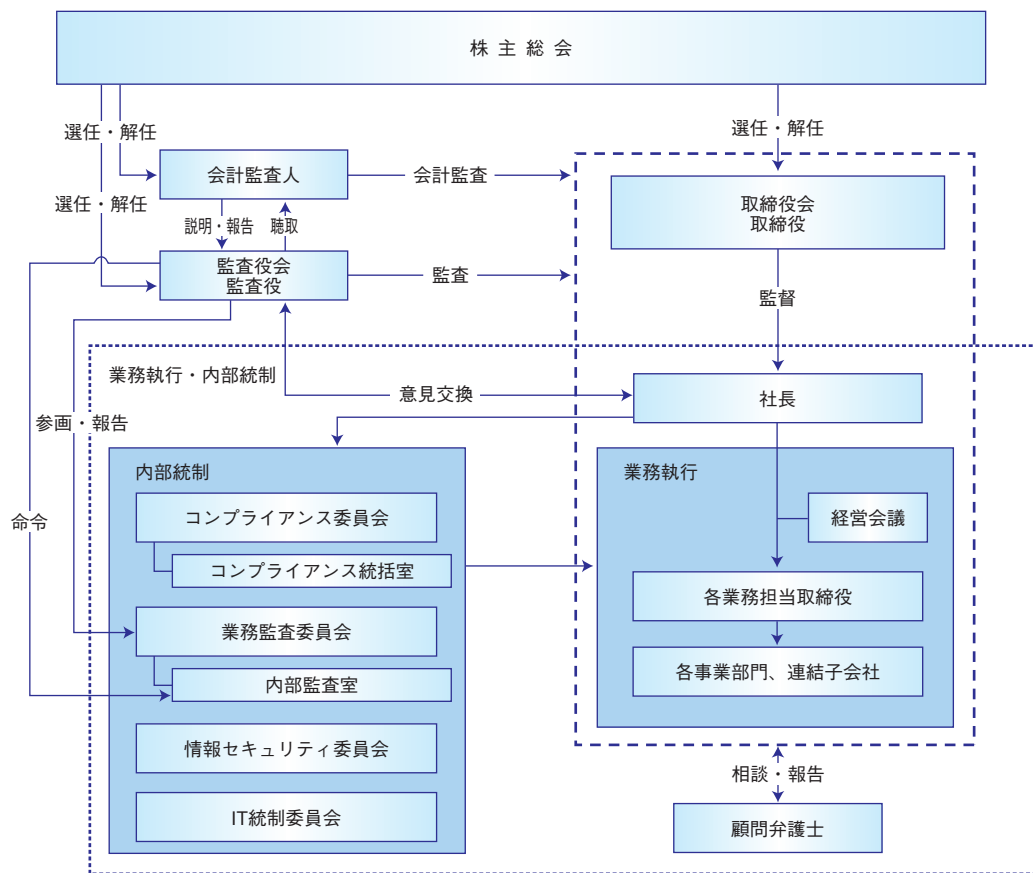
● 役員 (平成22年6月29日現在)

代表取締役(取締役社長)	浅羽 幸夫
常務取締役(生産本部長)	石井 繁雄
取締役(法務担当)	井手 譲司
取締役(開発本部長兼営業開発部長)	靄島 栄一
取締役(営業本部長)	加藤 龍巳
取締役(Nippon Pigment(S) Pte.Ltd.グループ担当)	植村 俊広
取締役(営業本部長兼化学品統括部長)	平岡 正彦
監査役(常勤)	島崎 満
監査役(常勤)	小林 稔
監査役	妹尾 正威
監査役	小池 敏彦

コーポレートガバナンスの状況

当社は、経営の健全性・透明性を高めるため公正な経営の実現を重要課題としており、株主・投資家の皆様の信頼に応えるため、最適なコーポレートガバナンスの整備・構築を目指しております。

なお、当社のコーポレートガバナンスの体制は、以下のとおりです。

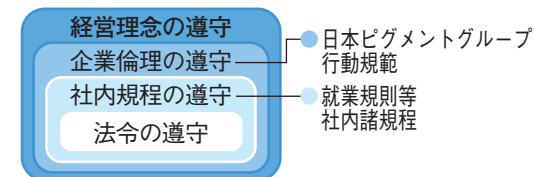


コンプライアンスについて

当社グループは経営理念を実践するために、日常的な事業活動のあらゆる局面において高い企業倫理を保持し、また、法令を遵守し、国際社会や地域社会への貢献に努めながら、社会規範にもとることのない誠実かつ公正なコンプライアンス経営を推進してまいります。

日本ピグメントのコンプライアンスとは

役員および社員が法令・諸規則を遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を実践することです。



コンプライアンスへの取り組み

内部統制の取り組みのなかでも根幹となるこのコンプライアンスを推進するために、具体的には、「コンプライアンスの基本方針」、「日本ピグメントグループ 行動規範」、「内部通報規程」等の各種規程を制定しています。また、コンプライアンス体制を構築し、「コンプライアンス委員会」の開催、「コンプライアンスプログラム」の作成、「コンプライアンス・オフィサー・ミーティング」の実施、「コンプライアンスハンドブック」の作成と配布、「内部相談窓口」の設置と運用、ならびに「社内研修」の実施をしています。

コンプライアンス推進プログラム	
基本規程	コンプライアンスの基本方針
	コンプライアンスの基本方針細則 日本ピグメントグループ 行動規範
推進体制	コンプライアンス委員会
	コンプライアンス担当役員
	コンプライアンス統括室 コンプライアンス責任者 コンプライアンス・オフィサー
啓発・研修プログラム	コンプライアンス・オフィサー・ミーティング
	コンプライアンス研修ほか
監査・モニタリング	コンプライアンス監査ほか
相談・報告制度	コンプライアンス相談窓口
違反への対応	調査、是正・再発防止措置、情報公開

安全保障貿易管理への取り組み

当社は、国際的な平和および安全の維持の観点から、外為法および輸出貿易管理令等の輸出貿易関連法のコンプライアンス徹底を目的とする「安全保障輸出管理規程」を制定しております。この規程に基づき、社長を最高責任者とし、その下に輸出管理委員会を設立するなど、社内における安全保障貿易管理の体制を整備しています。

国内事業所

■ 本社

本社
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号
TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418

■ 営業部門

東京支店
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番16号
(丸石第二ビル)

大阪支店
〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目7番10号
(扶桑道修町ビル)

名古屋支店
〒464-0075 名古屋市千種区内山三丁目8番10号
(明治安田生命今池内山ビル)

■ 生産部門

埼玉川本工場
〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909番地52

大阪工場
〒582-0029 大阪府柏原市石川町1番23号



国内グループ会社

■ 生産部門

東京ピグメント株式会社
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11

ニッピ化成株式会社
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11

日本プリントインキ株式会社
〒360-0005 埼玉県熊谷市今井1035

名古屋ピグメント株式会社
〒484-0952 愛知県犬山市上舞台62番地の1

大阪ピグメント株式会社
〒639-1031 奈良県大和郡山崎今国府町6番地11

三和カラーリング株式会社
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原代の上138番6

海外

Nippon Pigment (S) Pte.Ltd.	1Pioneer Place Singapore 627866
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Head Office and Penang Plant]	NO. 2479, MK1, Lorong Perusahaan 8b, Prai Industrial Estate 13600 Prai, Penang, Malaysia
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Shah Alam Plant]	PT14533, Jalan Jenjarum 28/39A, Seksyen 28, 40400 Shah Alam, Selangor Darul Ehsan, Malaysia
P.T. Nippisun Indonesia	1-1 block I. Kawasan Industri MM2100 Cibitung Bekasi 17520 West Java Indonesia
天津碧美特工程塑料有限公司 Tianjin Pigment Engineering Plastics Co.,Ltd.	G1 Hongtai Industrial Estate, No.78, Taihua Rd, TEDA Dist, Tianjin, 300457, China
NPK Co.,Ltd. [Kumi Plant]	623-14, Kupo Dong, Kumi City, Kyeong Buk, Korea



- 上場取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証券コード 4119
- 単元株式数 1,000株
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料
無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<http://www.pigment.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

ホームページのご案内

(URL) <http://www.pigment.co.jp/>

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、企業情報、製品情報などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。



日本ピグメントを知る

当社の事業や特長を
わかりやすくご紹介します。



株主・投資家情報

個人投資家の皆様へ

【株式に関する手続きについて】

○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録されている株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
手続用紙のご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 (*) ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 等
特別口座での留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開いたうえで株式の振替手続きが必要となります。

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。